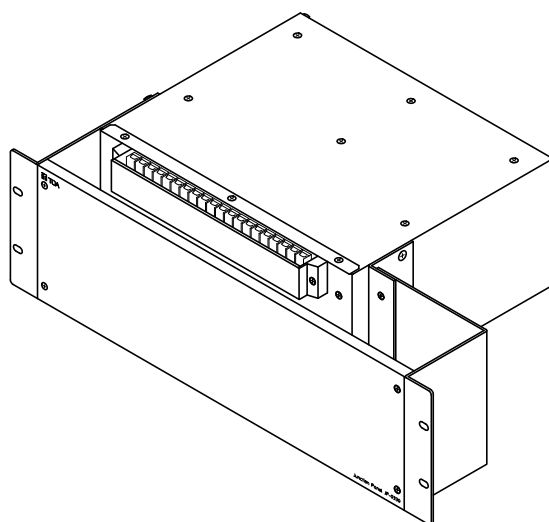


統合ジャンクションパネル

JP-0330



目 次

安全上のご注意	2	接続のしかた	7
電源コードの取り扱いについて	3	接続例	7
概 要	3	スピーカー回線の接続	7
各部の名称とはたらき	4	非常用放送設備との接続	8
前面	4	業務用放送設備との接続	12
後面	5	仕 様	15
動作概要	6	付属品	15

このたびは、TOA 統合ジャンクションパネルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、開閉器を「切」にして販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき



電源プラグ
を抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁 止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁 止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。



禁 止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

電源コードの取り扱いについて

付属の電源コードは、本機専用品です。
本機以外の機器に使用しないでください。

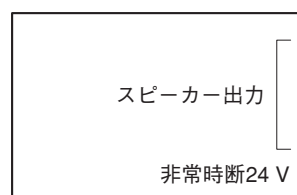
概 要

本機は、業務用放送設備と非常用放送設備が併設される場合に、非常放送と業務放送を切り換えてスピーカーへ出力させる統合ジャンクションパネルです。

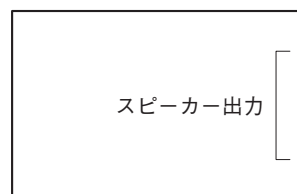
非常放送時には、非常用放送設備からの「非常時断 24 V」端子により、自動的に非常放送の音声信号がすべてのスピーカーへ出力されます。また、スピーカー回線を個別に切り換えられますので、回線を選択して非常用放送設備からの業務放送を行うことができます。

[システム例]

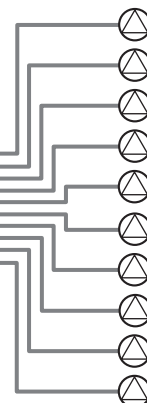
非常用放送設備



業務用放送設備、
デスク型放送設備 (10局) など



統合ジャンクションパネル
JP-0330



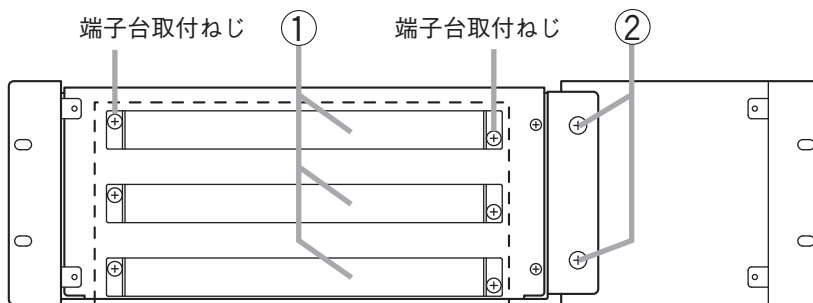
各部の名称とはたらき

[前面]

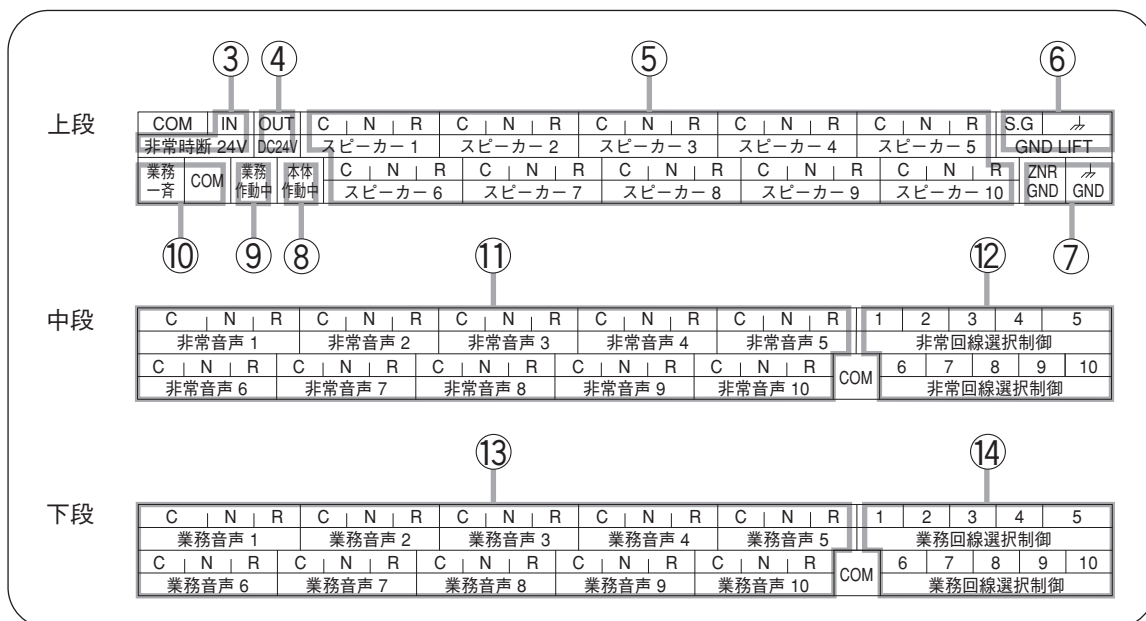


フロントパネル

● フロントパネル内部



● 前面端子台



1. 前面端子台

非常用放送設備のジャンクションパネルやスピーカーなどと接続します。端子台の左右にある端子台取付ねじを緩めると、端子台を本体から取り外せます。スピーカー回線の絶縁試験時などにご利用ください。端子台を取り付けるときは、端子台取付ねじをしっかりと締め付けてください。

ご注意

スピーカー回線の絶縁抵抗試験は、必ず前面端子台を本体から取り外した状態で行ってください。

2. 本体取付ねじ

本体と右側ラックマウント金具の固定用ねじです。このねじと本体左側のラックマウントねじを取り外すことで、キャビネットラックからの取り外しが簡単に行えます。

ご注意

本体の取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

3. 非常時断 24 V IN 端子

非常用放送設備の非常時断 24 V 出力端子と接続します。非常放送時には、非常用放送設備からの非常時断 24 V の出力停止により、非常放送の音声信号が自動的にスピーカーへ出力されます。

4. DC24 V OUT 端子

本機を非常用放送設備と接続せずに使用する場合、本機の非常時断 24 V IN 端子と接続します。

ご注意

DC24 V OUT 端子は、本機の非常時断 24 V IN 端子へ DC24 V を供給するための端子です。それ以外の用途には使用しないでください。

5. スピーカー回線接続端子

6. GND LIFT

ジャンパー線を外すと、信号 GND とシャーシ GND を切り離せます。

7. ZNR GND

サージアブソーバの GND です。絶縁抵抗試験を行うときは必ず ZNR GND 端子と GND 端子間のジャンパーを取り外して試験を行ってください。

8. 非常放送作動中出力端子

非常用放送設備からの放送が、スピーカーに出力されているときに DC24 V が出力されます。非常用放送設備から放送が行われていることを、業務用放送設備に表示させるとき接続します。

9. 業務放送作動中出力端子

業務用放送設備からの放送が、スピーカーに出力されているときにメイクします。業務用放送設備で放送が行われているときに、他の機器を制御するために接続します。

10. 業務一斉端子

業務用放送設備の回線選択制御信号を入力する端子です。

ご注意

業務用放送設備から業務放送の回線選択を行う場合は、業務一斉端子と COM 端子間のジャンパー線を取り外してください。

11. 非常放送音声接続端子

非常放送の音声信号を入力する端子です。非常用放送設備のスピーカー端子と接続します。

12. 非常回線選択制御端子

非常用放送設備の回線選択制御信号を入力する端子です。

13. 業務放送音声接続端子

業務放送の音声信号を入力する端子です。業務用放送設備のスピーカー端子と接続します。

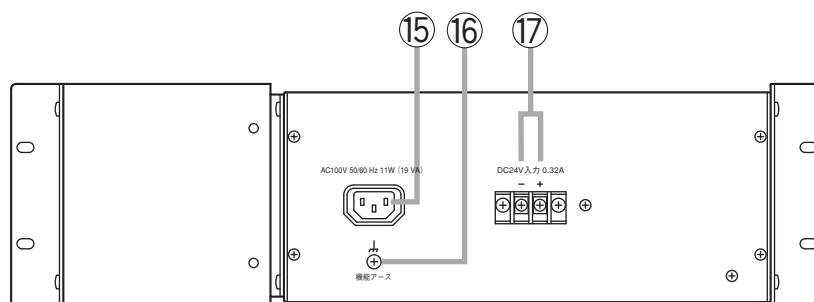
14. 業務回線選択制御端子

業務用放送設備の回線選択制御信号を入力する端子です。

ご注意

業務用放送設備から業務放送の回線選択を行う場合は、業務一斉端子と COM 端子間のジャンパー線を取り外してください。

[後面]



15. AC インレット

付属の電源コードを接続します。

16. アース端子

17. DC 入力端子

停電補償用の DC 電源入力端子です。DC24 V の電源を接続します。停電補償用の電源は、非常電源パネル (DS-029) とニカド蓄電池 (NDC-2435、NDC-2460) を組み合わせてお使いください。

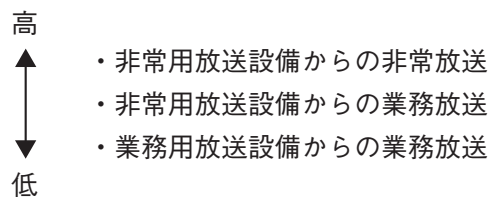
動作概要

本機は、通電や端子の状態によりスピーカー回線へ出力する放送を切り換えます。
通電や端子の状態による本機の動作をまとめると次のようになります。

停電時	非常放送の音声信号が、すべてのスピーカー回線へ出力されます。			
通電時	非常時断 24 V 遮断	非常放送の音声信号が、すべてのスピーカー回線へ出力されます。		
	非常時断 24 V 通電	非常回線のみ または 非常＋業務回線選択	非常用放送設備から選択した回線へ業務放送ができます。	
		業務回線のみ選択	業務一斉端子— COM 端子間 ジャンパー線有	業務放送の音声信号が、すべてのスピーカー回線へ出力されます。 回線選択はできません。
			業務一斉端子— COM 端子間 ジャンパー線無	業務放送時、業務放送の音声信号を、回線を選択して放送できます。

ご注意

スピーカー回線へ出力される放送の優先度は、高い順に次のようになります。

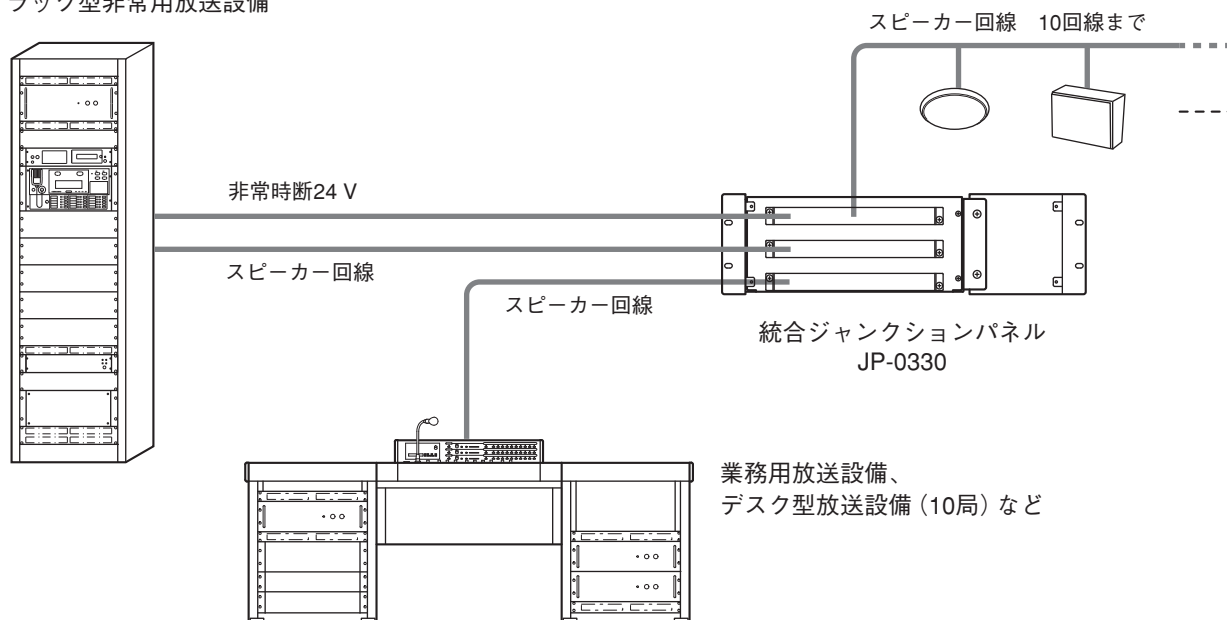


したがって、非常時断 24 V 通電時に非常回線と業務回線の両方が選択されている場合は、非常用放送設備からの業務放送が優先して放送されます。

接続のしかた

■ 接続例

ラック型非常用放送設備

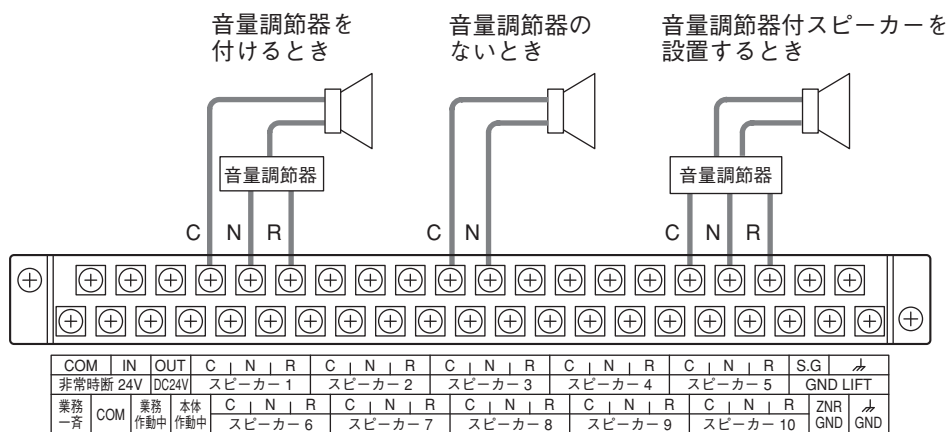


■ スピーカー回線の接続

- スピーカーは、本機の前面端子台上段にあるスピーカー回線接続端子に接続します。
- スピーカーに音量調節器を付けるとき、または音量調節器付のスピーカーを設置するときは、必ず3線式配線をしてください。
- スピーカー端子の番号は、非常選択制御端子および業務選択制御端子の番号と対応しています。
- スピーカーケーブルは耐熱電線を使用して、下図のように接続してください。

ご注意

スピーカー1回線あたりの定格入力合計が、非常用放送設備および業務用放送設備の1回線あたりの定格出力を超えないようにしてください。



JP-0330前面端子台 (上段)

■ 非常用放送設備との接続

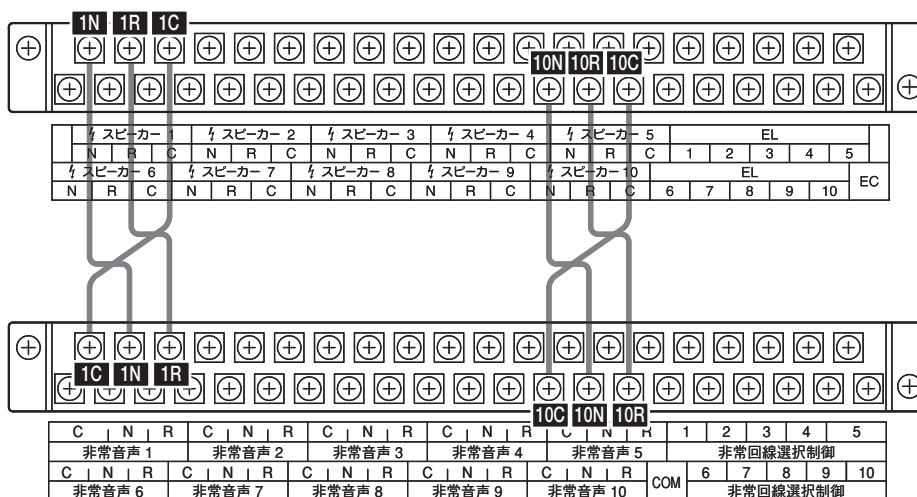
● 非常用放送設備からの音声信号を接続する

- 非常用放送設備のスピーカー端子（N、R、C）と、本機の非常放送音声接続端子（N、R、C）を接続してください。
- ケーブルは耐熱電線を使用して、下図のように接続してください。
- JP-0330 の 1 回線当たりの容量は 200 W までです。200 W を超える場合は、2 回線以上に分けてください。

非常用放送設備が FS-2000 シリーズ、FS-2500 シリーズの場合

「FS-2110JP/2120JP/2420JP との接続例」

FS-2110JP/2120JP/2420JP端子台



JP-0330前面端子台 (中段)

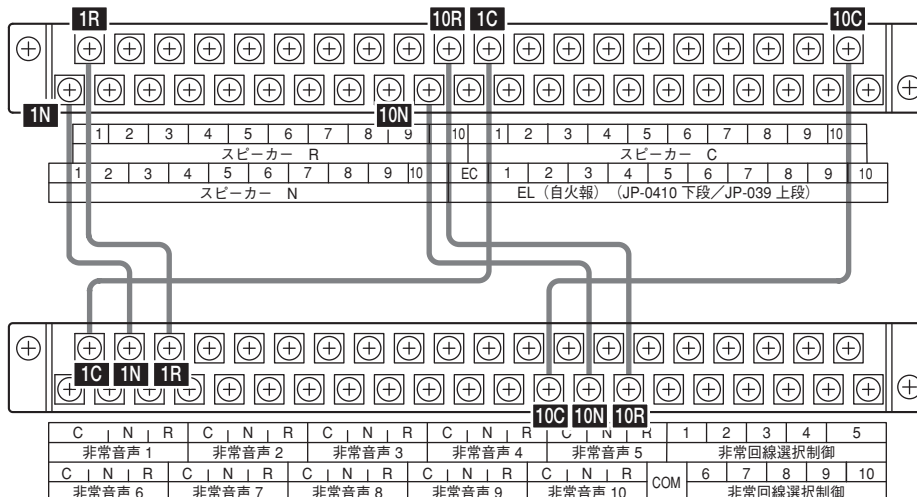
× 七

FS-2120JP/2420JP は端子台を 2 個備えており、20 回線まで接続できます。

非常用放送設備が FS-970 シリーズの場合

[JP-0410 との接続例]

JP-0410前面端子台 (下段)



JP-0330前面端子台 (中段)

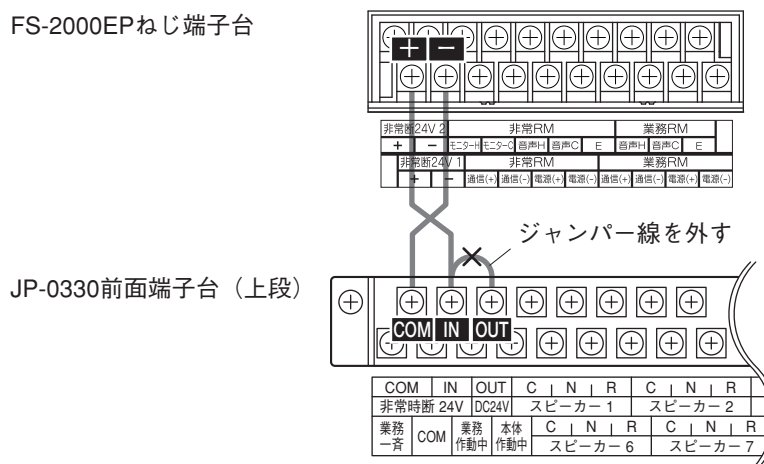
● 非常放送時にすべてのスピーカーに放送する

非常用放送設備の非常時断 24 V 出力端子と本機の非常時断 24 V IN 端子を接続します。

- 極性を合わせて接続してください。
- 本機の DC24V OUT 端子と非常時断 24V IN 端子間のジャンパー線は取り外してください。
取り外さないと、非常放送ができません。

非常用放送設備が FS-2000 シリーズ、FS-2500 シリーズの場合

[FS-2000EP との接続例]

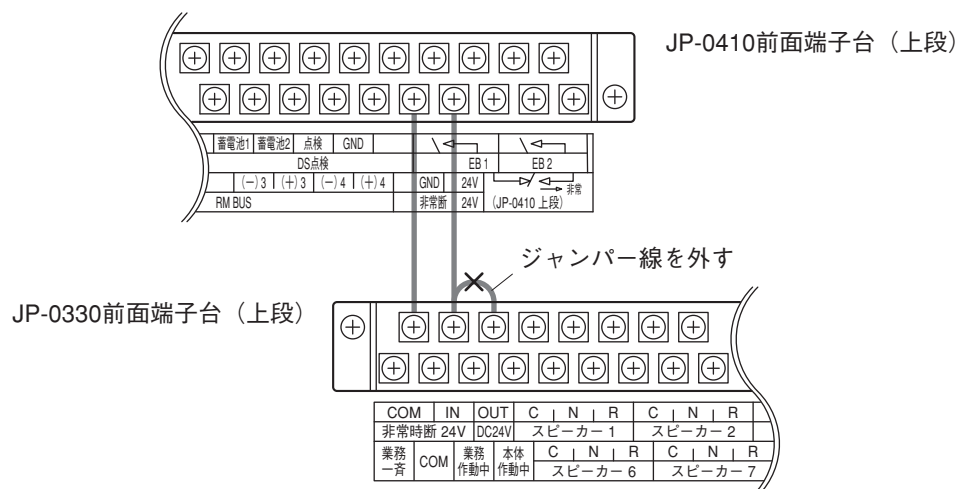


メモ

FS-2000EP/2500EP は非常断 24 V 出力端子を 2 系統備えています。

非常用放送設備が FS-970 シリーズの場合

[JP-0410 との接続例]

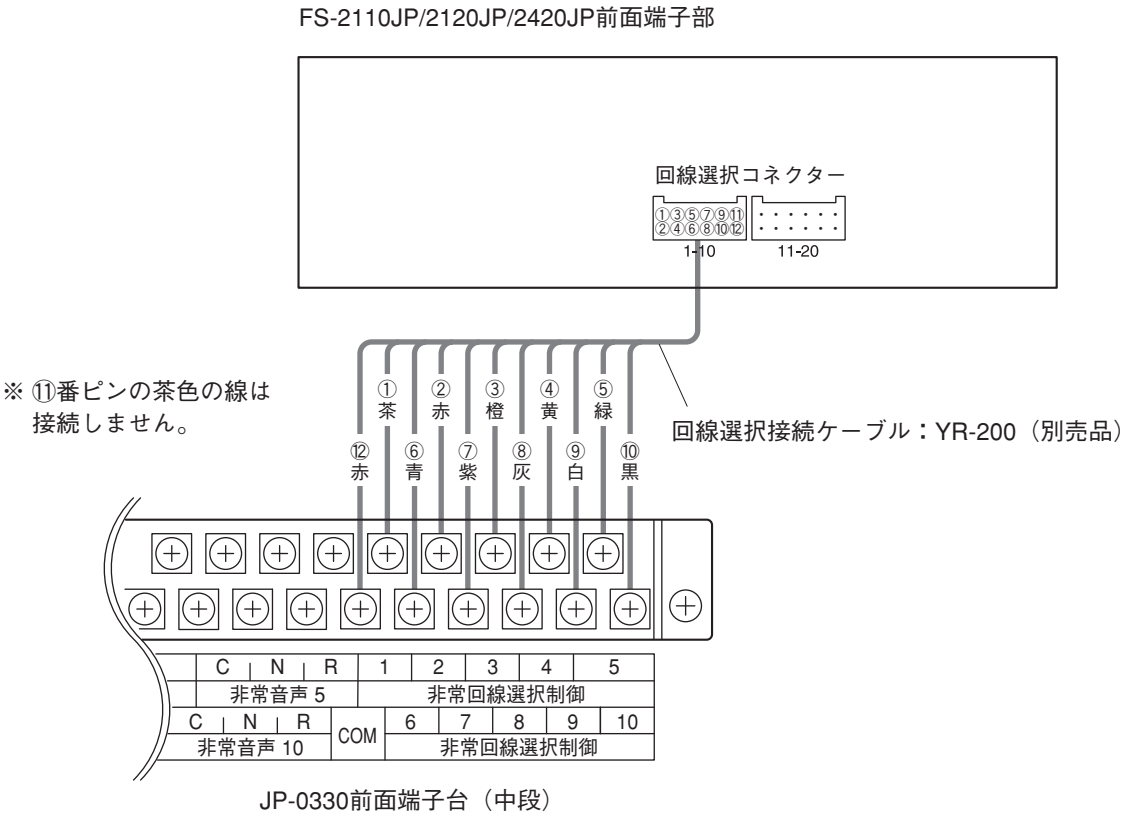


● 非常用放送設備で業務放送を行う

非常用放送設備の回線選択制御出力と本機の非常回線選択制御端子を接続します。

非常用放送設備が FS-2000 シリーズ、FS-2500 シリーズの場合

[FS-2110JP/2120JP/2420JP との接続例]



回線選択コネクタのピン配置

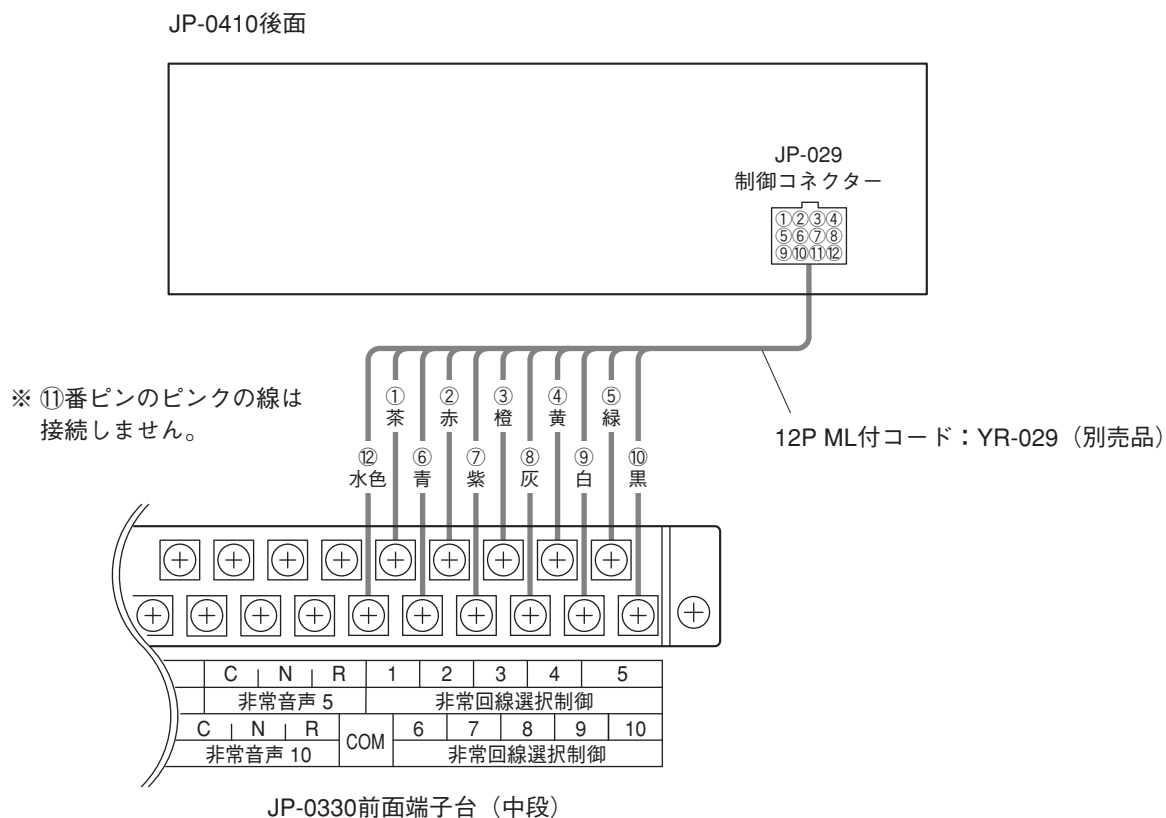
ピン番号、色	接続端子	ピン番号、色	接続端子
① 茶	非常回線選択制御 1	⑦ 紫	非常回線選択制御 7
② 赤	非常回線選択制御 2	⑧ 灰	非常回線選択制御 8
③ 橙	非常回線選択制御 3	⑨ 白	非常回線選択制御 9
④ 黄	非常回線選択制御 4	⑩ 黒	非常回線選択制御 10
⑤ 緑	非常回線選択制御 5	⑪ 茶	接続しない
⑥ 青	非常回線選択制御 6	⑫ 赤	COM

ご注意

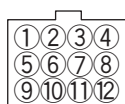
- FS-2110JP では回線選択コネクタ 11-20 は使用しません。
- 回線選択接続ケーブル YR-200 の 11 番線（茶色）と 12 番線（赤色）の線は、結束バンドでまとめられています。1 番線（茶色）、2 番線（赤色）と間違えないように注意してください。

非常用放送設備が FS-970 シリーズの場合

[JP-0410 との接続例]



12P ML コネクターのピン配置



ピン番号、色	接続端子	ピン番号、色	接続端子
① 茶	非常回線選択制御 1	⑦ 紫	非常回線選択制御 7
② 赤	非常回線選択制御 2	⑧ 灰	非常回線選択制御 8
③ 橙	非常回線選択制御 3	⑨ 白	非常回線選択制御 9
④ 黄	非常回線選択制御 4	⑩ 黒	非常回線選択制御 10
⑤ 緑	非常回線選択制御 5	⑪ ピンク	接続しない
⑥ 青	非常回線選択制御 6	⑫ 水色	COM

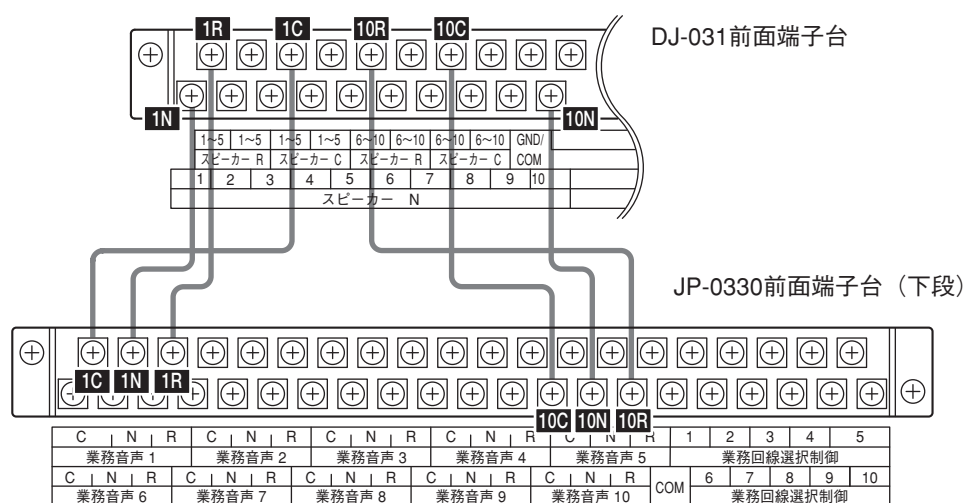
■ 業務用放送設備との接続

● 業務放送設備の音声信号を接続する

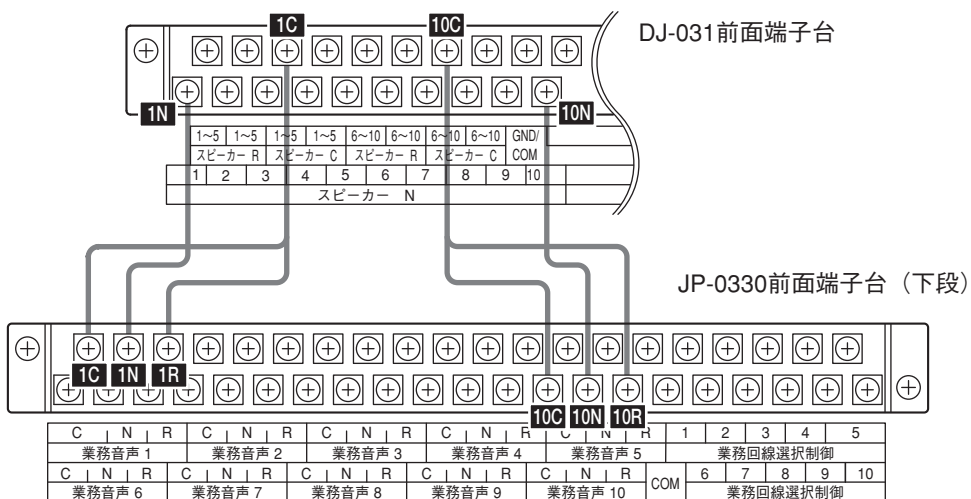
- 業務用放送設備からのスピーカー配線が3線式の場合は、スピーカー端子（N、R、C）と、本機の業務放送音声接続端子（N、R、C）を接続します。
- 業務用放送設備からのスピーカー配線が2線式の場合は、業務用放送設備のC端子から、本機の業務放送音声接続端子のR端子とC端子へ接続します。（業務用放送設備のN端子は、本機の業務放送音声接続端子のN端子へ接続します。）

[デスク型放送設備のDJ-031との接続例]

● スピーカー配線が3線式の場合



● スピーカー配線が2線式の場合



● 業務用放送設備から業務放送の回線選択を行う

業務用放送設備の回線選択制御出力と、本機の業務一斉端子・業務回線選択制御端子を接続します。

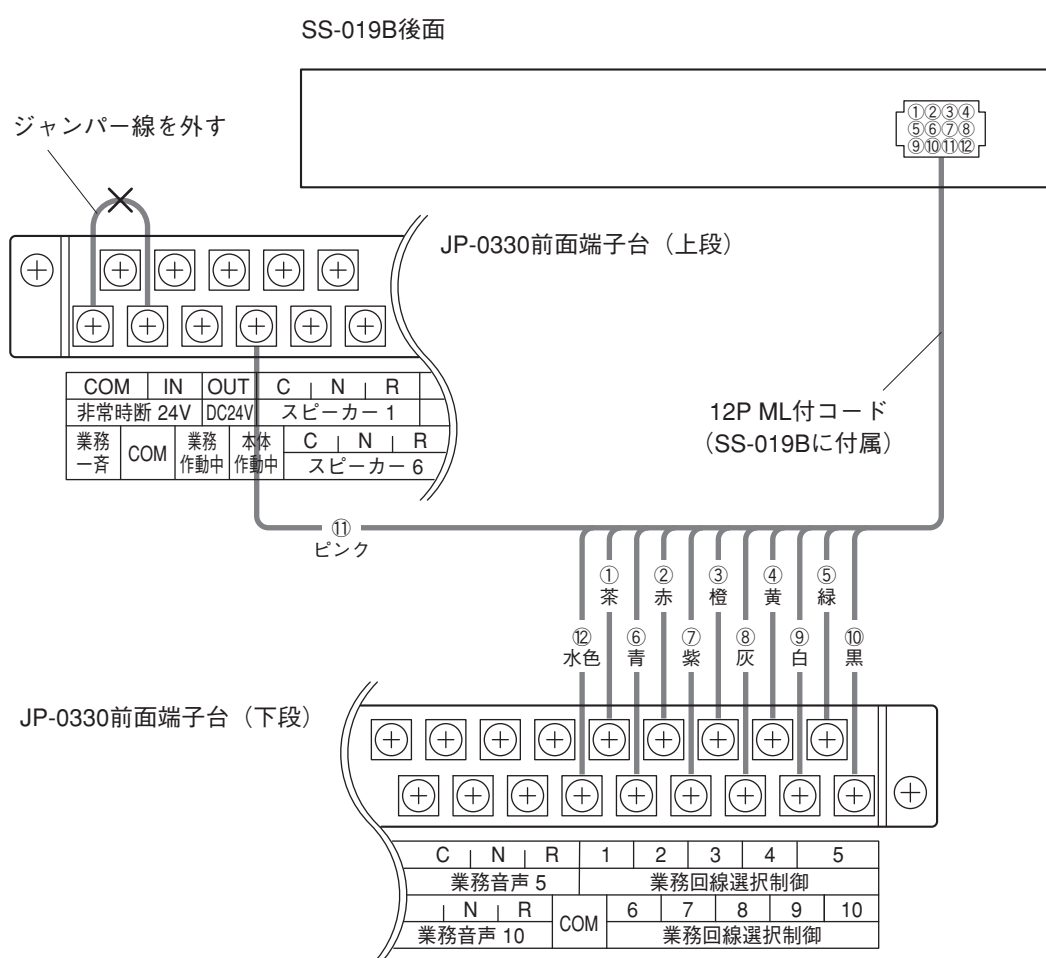
ご注意

本機の前面端子台上段にある業務一斉端子と COM 端子間のジャンパー線は取り外してください。取り外さないと、業務用放送設備からのスピーカー回線選択はできません。

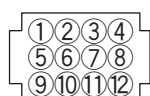
● 非常用放送設備が作動中であることを業務用放送設備で表示する

- 非常用放送設備からの放送が行われていることを、業務用放送設備で表示するときには、本機の前面端子台上段にある本体作動中端子と COM 端子を使用します。
- 非常時断 24 V 遮断時または非常用放送設備で回線が選択されているときは、本体作動中端子から DC24 V が出力されます。

[SS-019B との接続例]



12P ML コネクターのピン配置

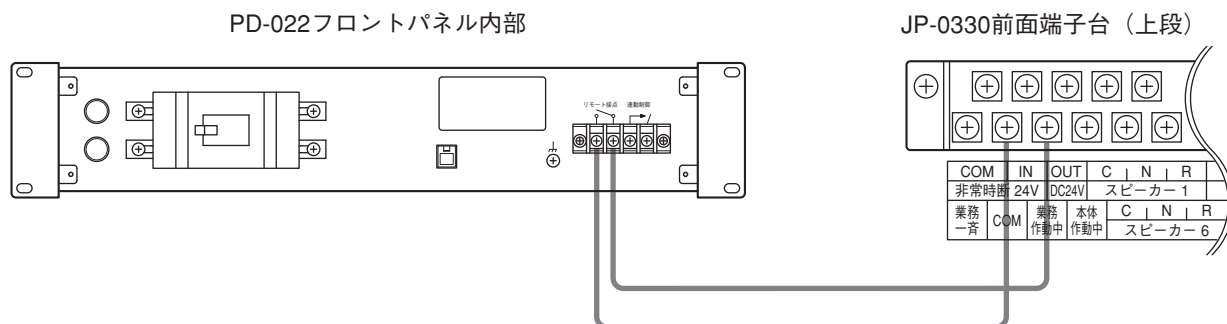


ピン番号、色	接続端子	ピン番号、色	接続端子
① 茶	業務回線選択制御 1	⑦ 紫	業務回線選択制御 7
② 赤	業務回線選択制御 2	⑧ 灰	業務回線選択制御 8
③ 橙	業務回線選択制御 3	⑨ 白	業務回線選択制御 9
④ 黄	業務回線選択制御 4	⑩ 黒	業務回線選択制御 10
⑤ 緑	業務回線選択制御 5	⑪ ピンク	本体動作中
⑥ 青	業務回線選択制御 6	⑫ 水色	COM

● 業務用放送設備作動中に連動して他の機器を制御する

- 業務用放送設備からの放送に連動して他の機器を制御したいときは、本機の前面端子台上段にある業務作動中端子と COM 端子を、電源分配パネルのリモート端子などに接続します。
- 業務放送回線が選択されると、業務作動中端子と COM 端子間がメイクして他の機器を起動できます。

[PD-022 との接続例]



仕 様

電 源		AC100 V、50/60 Hz DC24 V 0.32 A（停電補償用）、M4 ねじ端子、バリア間隔 9 mm
消 費 電 力		11 W（19 VA）
入 力	非常音声入力	R（緊急）N（通常）C（共通）各 10 回路、M3.5 ねじ端子、バリア間隔 9 mm ※ 1 回路あたりハイインピーダンス 100 系：最大 200 W ハイインピーダンス 70 系：最大 140 W
	非常時断 24 V	1 回路、フォトカプラー入力（入力電流：5 mA 以下）、M3.5 ねじ端子、 バリア間隔 9 mm
	非常回線選択 制御	10 回路、開放電圧：DC24 V、短絡電流：10 mA 以下、M3.5 ねじ端子、 バリア間隔 9 mm
	業務音声入力	R（緊急）N（通常）C（共通）各 10 回路、M3.5 ねじ端子、バリア間隔 9 mm ※ 1 回路あたりハイインピーダンス 100 系：最大 200 W ハイインピーダンス 70 系：最大 140 W
	業務回線選択 制御	11 回路（一斉十個別 10 回路）、開放電圧：DC24 V、短絡電流：10 mA 以下、 M3.5 ねじ端子、バリア間隔 9 mm
出 力	スピーカ－ 回線	R（緊急）N（通常）C（共通）各 10 回路、M3.5 ねじ端子、バリア間隔 9 mm ※ 1 回路あたりハイインピーダンス 100 系：最大 200 W ハイインピーダンス 70 系：最大 140 W
	本体作動中 出力	1 回路、開放電圧：DC24 V、短絡電流：10 mA、M3.5 ねじ端子、 バリア間隔 9 mm
	業務作動中 出力	1 回路、無電圧メイク接点、接点容量：DC30 V/1 A、M3.5 ねじ端子、 バリア間隔 9 mm
	DC24 V 出力	1 回路、開放電圧：DC24 V、最大電流：10 mA、M3.5 ねじ端子、 バリア間隔 9 mm
仕 上 げ		パネル：プレコート鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、3 分艶
寸 法		482（幅）× 132.6（高さ）× 315.3（奥行）mm
質 量		5.5 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード（2 m） 1
ラック取付ねじ（平座金付き）5 × 12 4

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00485-01